

基本方針01

地域の力でつくる・稼ぐうきは

うきはの豊かな自然や地域の資源を活かし、地場産業に若者や外部人材の参画を促して、新しい働き方を組み合わせた「稼ぐ地域経済」をつくります。地元雇用と愛着を生み出し、幸福度が高く活力があるまちを目指します。

現状と課題

- うきは市は豊かな自然と農林業を基盤にした多くの地域資源を有しており、フルーツや地産地消の食文化が地域の魅力となって市内外から人々を引きつけています。
- しかし、人口減少や高齢化、農林業をはじめとする担い手不足、地域ブランド力の向上といった課題があります。
- 加えて、若年層の地元定着やUターン促進に繋がる雇用創出が十分とは言えず、地域経済の持続的な発展に向けて多角的な取組が求められています。

対応方針

- 学生や若手人材の受け入れ体制を整備し、農林業や観光分野などでUターンやJITターンを含めて雇用機会の創出を図ります。
- 本市の強みである農林業資源や観光資源を活かしながら、体験型・滞在型コンテンツの開発や地域産品のブランド力強化を進めます。
- ふるさと納税を含めた地域外収入の獲得施策も強化し、地域経済の好循環を目指します。
- 関係人口や移住定住の促進にも繋がるよう、地域と外部との接点を意識した施策展開を行います。

KPI

農業産出額を80億円に増加



施策1

若者参画による農林商工業振興
「うきはワークチャレンジ」

施策2

地域産品の魅力創出
「うきはブランド戦略」

施策3

地域資源×体験観光
「うきは五感旅プロジェクト」

施策1

若者参画による農林商工業振興 「うきはワークチャレンジ」

基本的方向

- 高校や大学専門学校等との連携によるインターンシップ受入れや体験する機会を作り、うきはで働く人材の確保に寄与します。
- 若年層にうきはの農林業など地域産業の魅力と暮らしやすさを実感してもらい、将来的な就業や定住に繋がります。
- 研修やマッチング支援、就農支援制度を整備し、担い手不足の解消と地元経済の活性化を目指します。

KPI

市内事業者の求人に関する支援を年間130件

主な事業

- 高校生以上のインターン仕事体験
- 鳥獣被害対策を含む農林業の担い手の確保やICTの活用
- 市内への魅力的な企業の誘致等や、市内産業を紹介する情報発信とプロモーション
- U・I・Jターナー者に対する雇用促進
- 学生による農林業体験
- 若者農業マッチング支援
- 新規就農支援プログラム

施策2

地域産品の魅力創出 「うきはブランド戦略」

基本的方向

- 地域の特産品を活用した新商品開発や販路開拓を推進し、ふるさと納税や地元消費の拡大を図ります。
- 地元の事業者や農家と連携して特産品のブランド化、パッケージ改善、EC活用などで販路を広げ、地域経済への波及効果を高めます。
- 外部人材との共創やプロモーション施策も展開し、地元の魅力を再発見・再定義して発信します。

KPI

ふるさと納税寄付額6億円

主な事業

- 新技術導入による農業の生産性向上と農産物の高付加価値化
- 「うきはジビエ」ブランド化戦略と有害鳥獣対策強化
- 地元ブランド品の開発支援
- 市外マーケットでのうきは市の特産品販売
- ふるさと納税返礼品の開発と見直し
- EC販路拡大プロジェクト
- 地域の社会課題を事業によって解決し、社会的インパクトと経済的持続性の両立を目指す、地域に根差した「ローカルゼブラ企業」支援

地域資源 × 体験観光 「うきは五感旅プロジェクト」

基本的方向

- フルーツなどの特産品や自然景観、伝統文化を活かした体験型観光を強化し、地元住民と来訪者がつながる「関係人口」を創出します。観光と農林業を掛け合わせたプログラムや、自転車・自動車を活用した周遊ツアーを通じて、長期滞在型観光を推進します。
- SNS等での発信力を高め、都市部からの観光客誘致と地域の魅力発信を強化します。

KPI

市への移住相談件数が年間15件以上

主な事業

- うきは観光みらいづくり公社支援、DMO取組強化、自主運営化
- 高齢者スポーツと温泉を活用したスポーツツーリズム推進
- ラグビータウンプロジェクトの推進による地域活性化
- 公共交通機関の整備・利用と従事者の確保
- 地域資源を活用した観光コンテンツの充実と発信
- インバウンド等に対する観光プロモーション
- データや道の駅を活用した観光客の誘客
- 広域連携による観光回遊性の向上
- 企業、大学と連携した地域資源の磨き上げ
- 脱炭素の取組や再生可能エネルギー等を活用した豊かな自然環境の保全